

エコアクション21 令和元年度 環境経営レポート

対象期間：平成31年4月1日～令和2年3月31日



発行日：令和2年8月1日



美しい未来へ 住みやすい街づくり

公益財団法人 ふくおか環境財団
FUKUOKA ENVIRONMENT FOUNDATION



®環境省
エコアクション21
認証番号 0011517

～ 目次 ～

1. 環境経営方針.....	2
2. 組織概要.....	3
3. 組織体制.....	4
4. 収集運搬許可に関する事項.....	5
5. 施設等の状況及び処理実績.....	6
6. 環境経営目標.....	7
7. 環境経営計画.....	8
8. 令和元年度の目標・実績・評価（H31.4.1～R2.3.31）.....	9
9. 環境経営目標の実績.....	10
10. 次年度の環境経営目標および環境経営計画.....	13
11. 環境関連法規の遵守評価と違反・訴訟等の有無.....	14
12. 環境啓発活動の実績.....	15
13. 環境配慮型設備の導入（太陽光発電）.....	19
14. 代表者による全体の評価と見直し.....	20



1. 環境経営方針

【基本理念】

公益財団法人ふくおか環境財団は、環境事業を通じて、省資源・循環型社会の構築に貢献するとともに、職員一同、環境負荷の低減を継続的に図りながら、地球にやさしい活動を行っていきます。

【環境推進活動】

次の項目を重点項目として取り組みます。

- (1) 家庭・学校・地域などそれぞれの場に応じた環境啓発事業を推進していきます。
- (2) 電力、燃料等のエネルギーの効率的な使用及び省エネに努め、二酸化炭素排出量を削減します。
- (3) 一般廃棄物、産業廃棄物の排出抑制に努めます。
- (4) 節水に努め、水使用量を削減します。
- (5) 業務用車両の燃費を向上します。
- (6) グリーン購入を推進します。
- (7) 環境関連法規等を遵守します。

令和元年7月1日改定
公益財団法人 ふくおか環境財団
理事長 棕野 清彦

2. 組織概要

(1) 名称及び代表者氏名

事業所名：公益財団法人 ふくおか環境財団
代表者氏名：理事長 椋野 清彦

(2) 事業所

区分	施設名称	所在地
所有施設	本社	〒810-0071 福岡市中央区那の津2丁目10番15号
	事業部事務所	〒813-0034 福岡市東区多の津5丁目3番10号
指定管理施設	福岡市西部リサイクルプラザ	〒819-0162 福岡市西区今宿青木1043番2
	福岡市葬祭場	〒811-1355 福岡市南区松原6丁目1番1号

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者：総務部長 秋吉 尚志
担当者：総務課長 中原 裕寿
TEL：092-731-2701(代表)
E-MAIL：post@f-kankyo.or.jp

(4) 事業内容

- 1) ごみ収集及び運搬業務
- 2) 福岡市家庭系ごみ処理手数料徴収事務
- 3) 福岡市粗大ごみ受付センター業務等
- 4) 福岡市粗大ごみ処理手数料収納事務
- 5) 福岡市し尿収集及び運搬業務
- 6) 福岡市し尿処理手数料徴収事務
- 7) 排水設備完了検査業務
- 8) 福岡市西部リサイクルプラザ管理運営業務
- 9) 福岡市葬祭場管理運営業務
- 10) 自主事業（環境啓発事業）

(5) 事業の規模(所有事業所のみ記載)

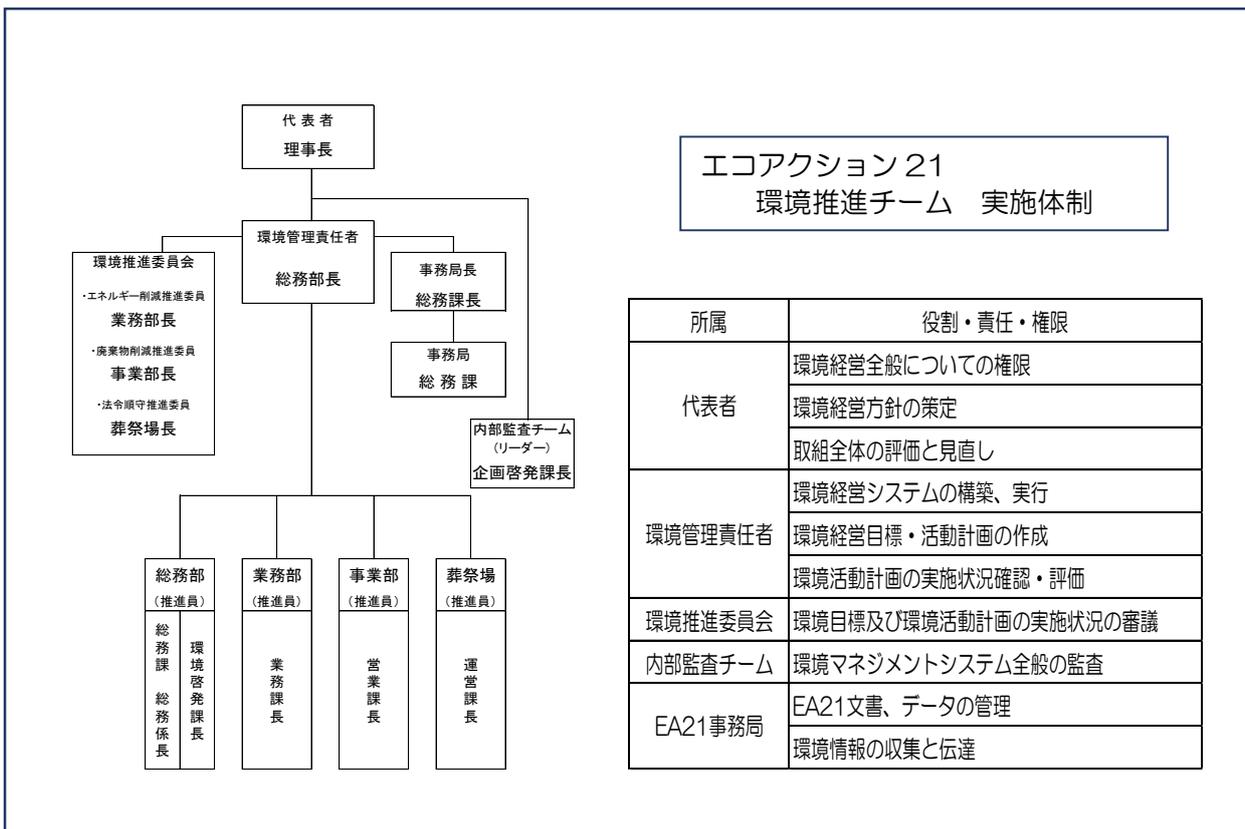
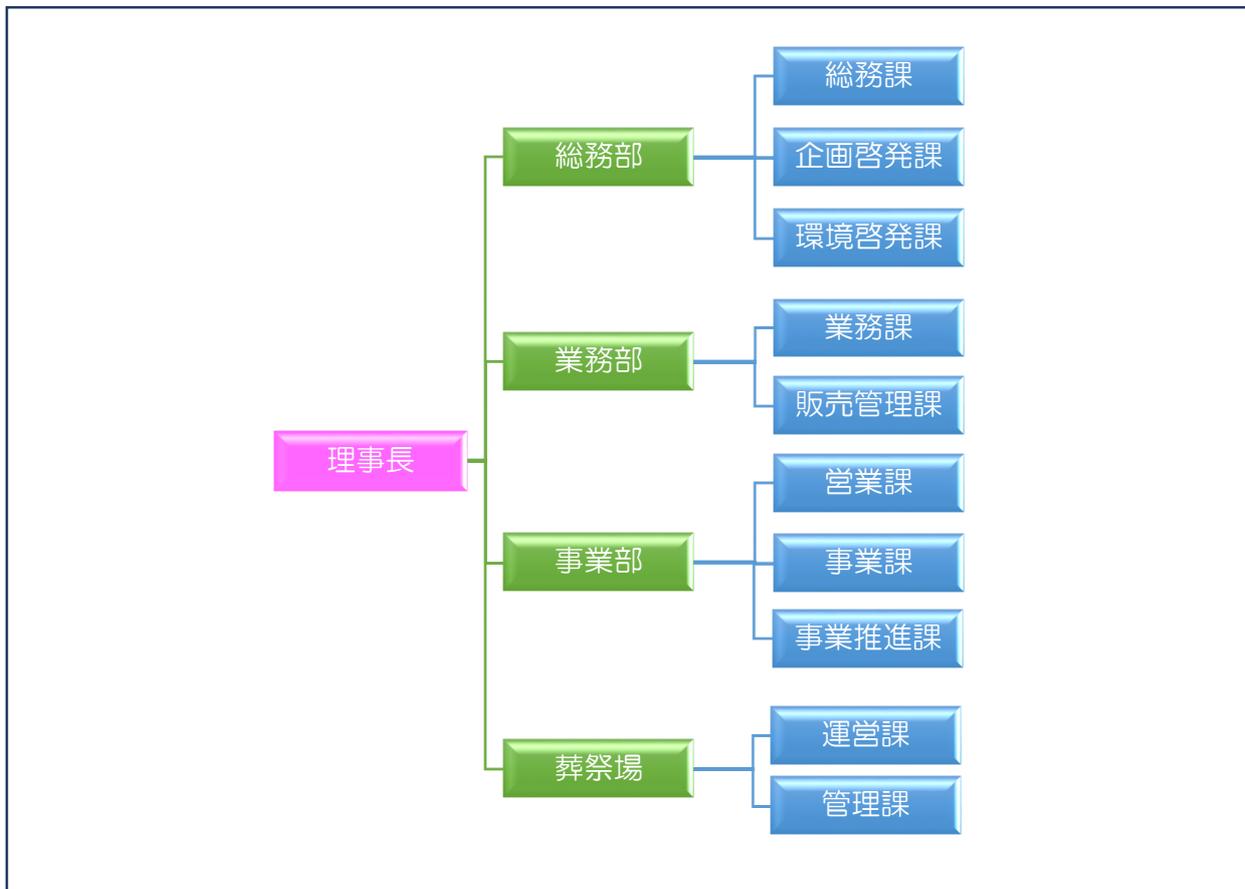
法人設立年月日：昭和44年7月1日
資本金：2千万円
売上高：2,396,115千円（令和元年度決算額）
職員数：140名
事業所の延べ面積：1,796㎡(本社)，1,025㎡(事業部事務所)
事業年度：4月から3月

(6) 対象事業所の範囲

本社，事業部事務所，指定管理施設（福岡市西部リサイクルプラザ，福岡市葬祭場）

(7) 対象活動 一般廃棄物の収集・運搬業務，市一般廃棄物処理手数料徴収事務，市施設管理運営業務，排水検査業務，環境啓発事業

3. 組織体制（令和元年度）



4. 収集運搬許可に関する事項

○産業廃棄物収集運搬許可の内容

産業廃棄物収集運搬業	振替保管		許可番号 許可年月日 有効年月日	許可項目																
				燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	ゴムくず	金属くず	ガラスくず	がれき類	ばいじん		
都道府県及び政令指定都市	有	無	第04000000500号 平成28年12月27日 ～ 令和3年12月26日		●					●					●	●	●	●		
福岡県		●																		

○福岡市からの委託及び許可の内容

① 事業部（家庭ごみ収集、事業系ごみ収集）

一般廃棄物収集運搬業			家庭ごみ収集			事業系ごみ収集
都道府県及び政令指定都市	委託番号	許可番号	可燃ごみ・不燃ごみ	粗大ごみ	ペットボトル・空きびん	可燃ごみ・不燃ごみ
福岡市	552号		●			
	554号		●			
	555号		●			
	557号		●			
	553号				●	
	556号				●	
	797号			●		
	803号			●		
	805号			●		
		518号				●
	434号				●	
	437号				●	
	435号				●	
	436号				●	
	433号				●	
	522号				●	
	439号				●	
	431号				●	
	438号				●	
	432号				●	

② 業務部（し尿収集）

一般廃棄物収集運搬業	委託番号	し尿
都道府県及び政令指定都市		
福岡市	228号	●
	215号	●
	205号	●
	209号	●
	230号	●
	305号	●
	229号	●
	210号	●

5. 施設等の状況及び処理実績

○車両、施設等の状況（運搬車両の種類、台数及び設備能力）

【本社】

連絡車 : 6台

バキューム車 : 8台

【事業部事務所】

4 tパッカー車 : 13台

2 tパッカー車 : 1台

2 t平ボディー : 2台

連絡車 : 11台

軽トラック : 1台

【福岡市西部リサイクルプラザ】

連絡車 : 2台

【福岡市葬祭場】

連絡車 : 1台

軽ダンプ車 : 1台

火葬炉 : 26基（最大火葬能力48人/日）

○処理実績

・一般廃棄物収集運搬実績

廃棄物収集運搬量		令和元年度	単位
し尿		8,962	kL
ごみ	家庭ごみ	5,172	t
	事業系ごみ	15,177	t

・火葬利用実績

利用区分	令和元年度	単位
火葬件数	10,963	件

・福岡市西部リサイクルプラザ利用実績

利用区分	令和元年度	単位
施設内事業利用者	64,587	人
施設外事業利用者	3,198	人

6. 環境経営目標

環境経営目標	サイト 区分	単位	基準年		目標					
			平成30年度	令和元年度 <small>※令和2年度以降変更</small>	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
					基準年比0.5%削減	基準年比1%削減	基準年比1.5%削減	基準年比2%削減	基準年比2.5%削減	
1	①電気使用量の削減	全体	kWh	1,607,952	1,609,656	1,599,913	1,593,559	1,585,511	1,577,463	1,569,415
	②都市ガス使用量の削減	全体	Nm ³	586,878	-	583,944	581,009	578,075	575,140	572,206
	③ガソリン使用量の削減	全体	L	7,746	7,779	7,707	7,701	7,662	7,623	7,584
	④軽油使用量の削減	業務部	L/件	0.8	-	0.80	0.79	0.79	0.78	0.78
事業部		L/t	5.1	-	5.08	5.05	5.02	5.00	4.97	
2	一般廃棄物排出量の削減	全体	kg	6,321	-	6,289	6,258	6,226	6,194	6,163
	産業廃棄物排出量の適正処理 (グリストラップの点検・清掃)	業務部	t	0.77	-	0.77	0.76	0.76	0.75	0.75
		事業部	t	19.9	-	19.8	19.7	19.6	19.5	19.4
3	水使用量の削減	全体	m ³	7,676	-	7,638	7,599	7,561	7,522	7,484
4	グリーン購入の推進	全体	% (購入率)	56	-	56	57	57	57	57
5	環境啓発事業の推進	企画啓発課 西部リサイクルプラザ	内容の充実	-	-	-	-	-	-	-

※基準年は平成30年度とするが、使用頻度等の変動が大きく発生した一部の項目については、令和2年度目標から基準年を令和元年度とする。

※基準年（平成30年度）実績には、平成30年度末をもって事業終了した緑のリサイクルセンターに係る各数値は含んでいない。



7. 環境経営計画

項目	環境経営計画
1.エネルギー使用量の削減	
電気使用量の削減	昼休み、残業時の不必要な照明の消灯
	パソコン、コピー機等のOA機器類の省電力設定
	エアコン設定温度を決め、実行
	駐車棟、詰所のエアコン設定温度
都市ガス使用量の削減	使用していない部屋の空調・照明等は主電源を切る
	使用していない部屋の空調は停止
	空調機のフィルターの定期的な清掃
	給湯時の適温設定
ガソリン使用量の削減	啓発ポスターの掲示
	アイドリングストップの実施
	急発進・急加速や空ぶかしの禁止
	空気圧の定期的確認と適正值保持（給油時）
軽油使用量の削減	エコドライブ等運転方法の配慮を遂行（急発進等）
	アイドリングストップの実施
	急発進・急加速や空ぶかしの禁止
	空気圧の定期的確認と適正值保持（給油時）
2.廃棄物排出量削減	
一般廃棄物排出量の削減	効率的な収集経路ルート計画を実行
	使用済み用紙等の裏紙利用の活用
	使用済み紙類の分類（資源化：リサイクル業者へ）
	使い捨て製品（容器：弁当等）の持ち込み抑制
産業廃棄物排出量の削減 （適正処理）	詰め替え可能商品の利用
	空き缶・ピンの分別（資源化：リサイクル業者へ）
	汚泥・廃油の適正処理
	Gトラップの定期清掃
3.水使用量の削減	
水使用量の削減	パキューム車用ホースの取扱に注意
	手洗いなどの日常使用時の節水励行
	啓発ポスターの掲示
4.グリーン購入推進	
グリーン購入の推進	洗車時の節水（水の出っぱなしをしない等）
	購入時にエコ商品を選択する
5.環境啓発事業推進	
環境啓発事業の推進	リストを参考に購入を推進する
	イベントへの参画（参加）
	出前講座（環境教育）の実施
	環境啓発プログラムの検討
イベント開催（主催）	

8. 令和元年度の目標・実績・評価（H31.4.1～R2.3.31）

環境活動実績（令和元年度）（全体）

環境経営目標	サイト区分	単位	基準年	目標	実績		
			H30年度	R1年度	R1年度 4月～3月(2)	対目標 達成率	評価
			H30年4月～ H31年3月	H31年4月～ R2年3月(1)			
1. 二酸化炭素の排出量	全体	t・CO ₂	2,410	-	2,420	-	-
2. エネルギー使用量の削減		-	-	-	-	-	-
① 電気使用量の削減	全体	kWh	1,607,952	1,599,913	1,577,959	101%	○
	本社（総務部、業務部）	kWh	133,086	132,421	127,842	103%	○
	福岡市西部リサイクルプラザ	kWh	-	-	-	-	-
	事業部	kWh	61,206	60,900	62,910	96%	×
	葬祭場	kWh	1,413,660	1,406,592	1,387,207	101%	-
		kWh/件	133	132.3	127.0	104%	○
② 都市ガス使用量の削減	全体	Nm ³	586,878	583,944	597,629	97%	×
	事業部	Nm ³	21,551	21,443	21,081	101%	○
	葬祭場	Nm ³	565,327	562,501	576,548	97%	-
		Nm ³ /件	53.3	53.0	52.6	100%	○
③ ガソリン使用量の削減	全体	L	7,746	7,707	7,571	101%	○
	本社（総務、企画、販売）	L	1,547	1,539	1,315	117%	○
	業務部	L	188	187	117	159%	○
	福岡市西部リサイクルプラザ	L	516	514	485	105%	○
	事業部	L	4,903	4,878	5,029	96%	×
	葬祭場	L	592	589	625	94%	×
④ 軽油使用量の削減	全体	L	131,523	130,866	131,600	99%	×
	業務部	L	29,700	29,552	28,373	104%	-
		L/件	0.8	0.80	0.75	106%	○
	事業部	L	101,823	101,314	103,227	98%	-
		L/t	5.1	5.08	5.14	98%	×
3. 廃棄物排出量の削減		kg	-	-	-	-	-
① 一般廃棄物排出量の削減	全体	kg	6,321	6,289	5,384	116%	○
② 産業廃棄物排出量の削減	業務部	t	0.77	0.77	0.90	85%	×
③ 産業廃棄物排出量の適正処理 （グリストラップの点検・清掃）	事業部	t	19.9	19.8	19.5	101%	○
4. 水使用量の削減	全体	m ³	7,676	7,638	7,872	97%	×
	本社（総務部、業務部）	m ³	1,565	1,557	1,752	88%	×
	事業部	m ³	2,788	2,774	2,857	97%	×
	葬祭場	m ³	2,670	2,657	2,622	101%	○
	福岡市西部リサイクルプラザ	m ³	653	650	641	-	-
		m ³ /10人	0.1	0.1	0.1	100%	○
5. グリーン購入の推進	全体	%（購入率）	56	56	60	106%	○
6. 環境啓発事業の推進	企画啓発課 西部リサイクルプラザ	件数	106	-	104	-	-

※購入電力の二酸化炭素排出係数は、0.463kg-CO₂/kWh（九州電力 平成29年度調整後排出係数）を使用した。

※対目標達成率の算出式……令和元年度目標値①÷令和元年度実績値②×100（削減目標）

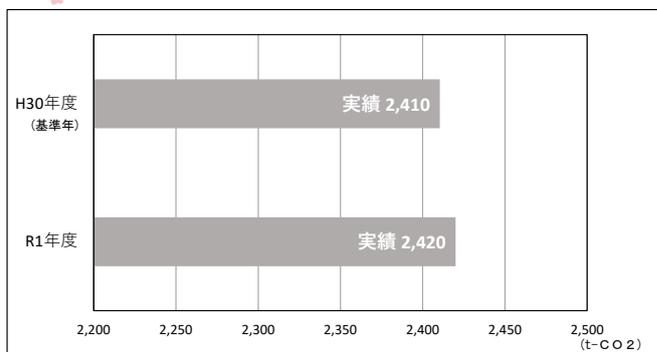
……令和元年度実績値②÷令和元年度目標値①×100（増加目標）

※基準年（平成30年度）実績には、平成30年度末をもって事業終了した緑のリサイクルセンターに係る各数値は含んでいない。

9. 環境経営目標の実績



<二酸化炭素排出量 (CO₂)>

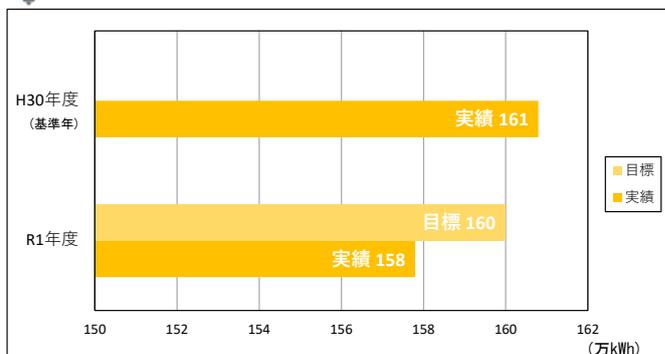


業務量の増加に伴い、都市ガスや軽油の使用量が増えたことから、二酸化炭素排出量が増加しました。

業務量に左右されるところではありますが、次年度も各項目において、省エネルギーに努め、二酸化炭素排出量を減少させることができるよう、努めていきます。



<電気使用量>



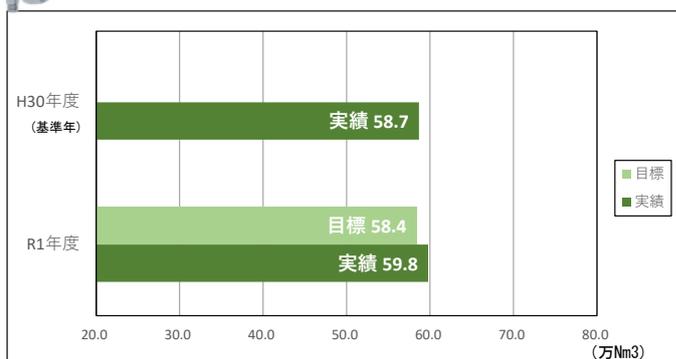
目標達成!

令和元年度は、冷暖房の使用軽減に努め、目標値を達成することができました。また、空調設備など電気系統の改修を行い、省エネルギー化にも取り組みました。

今後も節電への取り組みを継続し、省エネルギーを達成できるように努めます。



<都市ガス使用量>



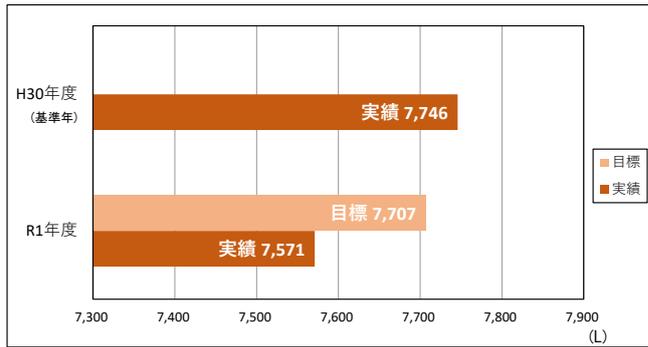
目標未達...

都市ガスは主に葬祭場の火葬業務で使用しており、昨年度と比較すると、火葬1件あたりの使用量(原単位)は軽減し目標値を達成することができました。

総使用量では、わずかに目標値を上回りましたが、目標値との差は昨年より縮小できました。今後も省エネルギーに努めていきます。



<ガソリン使用量>



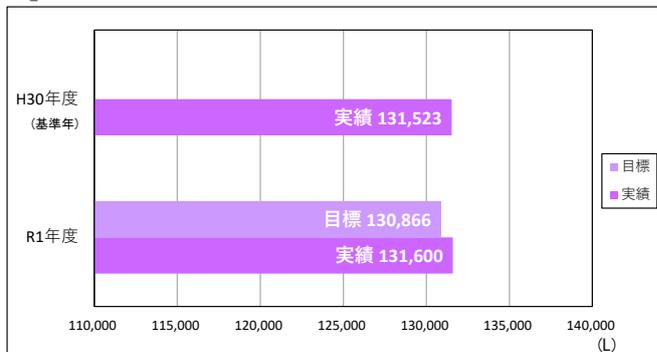
目標達成!

使用量が増加した部署もありましたが、エコドライブや効率的な自動車の使用等の取り組みを行った結果、全体としては目標を達成することができました。

今後もエコドライブ等の取り組みを継続し、省エネルギーに努めていきます。



<軽油使用量>



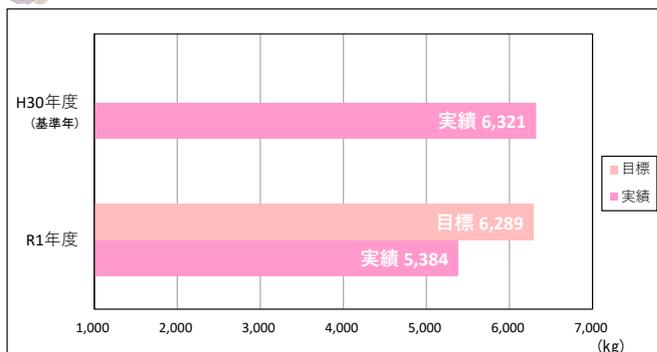
目標未達...

業務量の増加により軽油使用量が増加し、目標達成となりませんでした。が、昨年度と比較すると、目標値との差は縮小することができました。

原単位ベースでは、業務課(し尿収集車両)で目標を達成できており、今後もエコドライブ等の取り組みを継続し、省エネルギーに努めていきます。



<一般廃棄物排出量>



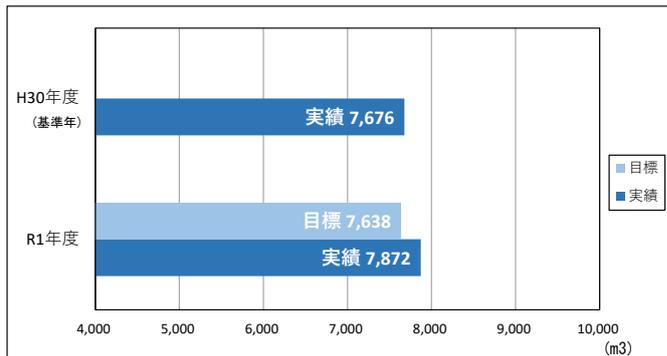
目標達成!

令和元年度は不燃物のリサイクル等の取り組みを行った結果、廃棄物排出量を大きく減らし、目標を達成できました。

今後も、廃棄物のリサイクル等に積極的に取り組み、ごみの削減を進めていきます。



<水道使用量>

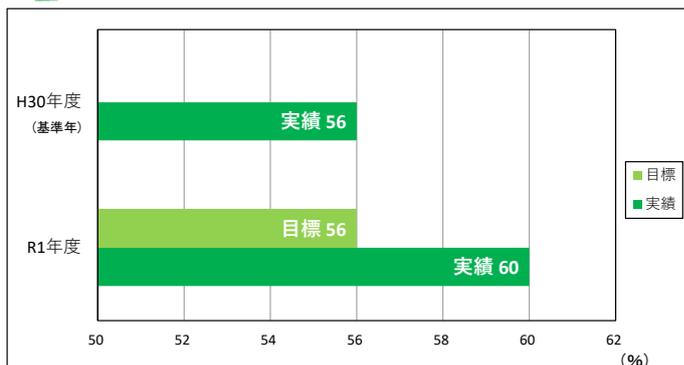


目標未達...

令和元年度から全社的に取り組んだグリーンカーテンにより水道使用量が増え、わずかに目標値を上回りましたが、より一層の雨水の有効活用など日ごろの節水の取り組みを継続して行い、使用量削減に努めていきます。



<グリーン購入率>



目標達成!

特に、社内で使用する事務用品について、グリーン購入製品を購入するよう、努めています。

令和元年度は、これまで以上に各部署において、購入を推進した結果、昨年度より購入率が上昇しました。

※環境啓発事業等の実績については、P15に記載



10. 次年度の環境経営目標および環境経営計画

○次年度の環境経営目標

次年度の環境経営目標は、以下のとおり、中期計画の2年目（令和2年度）の数値を目標とします。

なお、電気使用量とガソリン使用量の目標については、令和元年度において、使用する機器や使用頻度が大きく増えた部署があるため、基準年を令和元年度としています。

環境経営目標	サイト区分	単位	基準年		目標					
			平成30年度	令和元年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			<small>※令和2年度実績は参考</small>		基準年比0.5%削減	基準年比1%削減	基準年比1.5%削減	基準年比2%削減	基準年比2.5%削減	
1	①電気使用量の削減	全体	kWh	1,607,952	1,609,656	1,599,913	1,593,559	1,585,511	1,577,463	1,569,415
	②都市ガス使用量の削減	全体	Nm ³	586,878	-	583,944	581,009	578,075	575,140	572,206
	③ガソリン使用量の削減	全体	L	7,746	7,779	7,707	7,701	7,662	7,623	7,584
	④軽油使用量の削減	業務部	L/件	0.8	-	0.80	0.79	0.79	0.78	0.78
事業部		L/t	5.1	-	5.08	5.05	5.02	5.00	4.97	
2	一般廃棄物排出量の削減	全体	kg	6,321	-	6,289	6,258	6,226	6,194	6,163
	産業廃棄物排出量の適正処理 (グリストラップの点検・清掃)	業務部	t	0.77	-	0.77	0.76	0.76	0.75	0.75
		事業部	t	19.9	-	19.8	19.7	19.6	19.5	19.4
3	水使用量の削減	全体	m ³	7,676	-	7,638	7,599	7,561	7,522	7,484
4	グリーン購入の推進	全体	% (購入率)	56	-	56	57	57	57	57
5	環境啓発事業の推進	企画啓発課 西部リサイクルプラザ	内容の充実	-	-	-	-	-	-	-

※基準年は平成30年度とするが、使用頻度等の変動が大きく発生した一部の項目については、令和2年度目標から基準年を令和元年度とする。

※基準年（平成30年度）実績には、平成30年度末をもって事業終了した緑のリサイクルセンターに係る各数値は含んでいない。

○次年度の環境経営計画

次年度の環境経営計画は、今年度の環境経営計画（8 ページ）の取り組みを継続して行い、二酸化炭素、廃棄物、水使用量の削減を図っていきます。

1 1. 環境関連法規の遵守評価と違反・訴訟等の有無

○適用される法規制等と遵守状況

主な適用法令名称（略称）	要求事項	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	事業者の責務	適
	一般廃棄物の許可、許可の更新	適
	収集及び運搬並びに処分に関する手数料の額	適
	一般廃棄物処理基準	適
	再委託の禁止	適
	帳簿の記載事項	適
	帳簿の保存	適
	名義貸しの禁止	適
	産業廃棄物の委託	適
	委託基準の遵守	適
	事業者の処理	適
	収集・運搬車の表示、書面の備付等	適
	管理票(マニフェスト)の交付・保存・定期報告	適
下水道法	排水設備の設置等	適
使用済自動車の再資源化等に関する法律（自動車リサイクル法）	使用済自動車の引渡義務	適
使用済小型家電機器等の再資源化の促進に関する法律（小型家電リサイクル法）	事業者の責務	適
建築物における衛生的環境の確保に関する法律	建築物環境衛生管理基準	適
	特定建築物についての届出	適
騒音規制法（葬祭場）	規制基準の順守義務	適
	特定施設の数等の変更の届出	適
ダイオキシン類対策特別措置法（葬祭場）	排ガス測定	適
消防法	防火管理者	適
	避難上必要な施設の管理義務	適
	自衛消防組織の設置	適
	危険物取扱者	適
	消防用設備等の設置、維持	適
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（フロン排出抑制法）	第一種特定製品の点検に関する事項（簡易定期点検）	適
	第一種特定製品点検に関する事項（定期点検）	適
グリーン購入法	環境物品の購入推進	適
家電リサイクル法	事業者の責務	適

【違反・訴訟の有無】

事業活動に関する環境関連法規の違反、訴訟等はありませんでした。
また、関係機関からの指摘・指導や訴訟等もありません。

12. 環境啓発活動の実績

令和元年度も、環境に関するイベントを企画するとともに、福岡市等が実施する環境啓発事業への参画や協賛を行うなど環境啓発活動に取り組みました。

①福岡市等が実施する環境啓発イベントへの参画

○ラブアース・クリーンアップ 2019、おやこフェスタ 2019



地域の清掃活動の一環として、「ラブアース・クリーンアップ 2019 (①) (R1.6.23)」に参加しました。集められたごみの量は24袋分。未来の子供たちにきれいな海を残していけるよう清掃活動を継続していきます。「おやこフェスタ 2019 (②) (R1.10.19)」では、福岡市内の幼稚園に通う子どもたちが集めたペットボトルキャップの収集運搬などを行いました。

②自主事業の企画・運営

○親子ごみ収集ミッドナイトツアー



普段見ることができない夜間のごみ収集作業やごみの搬入現場などを身近に見学できる珍しいツアーとあって、今年度もたくさんの方にご応募、ご参加いただきました。今年度で4回目となる「親子ごみ収集ミッドナイトツアー」(R1.7.26、8.2)ですが、福岡市環境事業協会のご協力のもと、見学ルートも新たな地区が追加され、初めての方もリピーターの方も楽しんでいただける内容となりました。これからも職員一同、ごみの減量や分別などの市民の環境意識の向上に取り組んでいきます。

○留守家庭子ども会出前講座



福岡市内の小学校留守家庭子ども会を対象に、不要なものを有効に活用する体験型講座を通して、ごみ減量や環境問題についての理解を深めることを目的として環境学習体験型出前講座を実施し、20校、約2,200名の子供たちに参加してもらいました。楽しく学んでもらうためにスライドを使った学習、ごみに関するクイズや紙芝居なども取り入れました。引き続き講座を通して、環境への理解が深まるようにしていきたいと思えます。

③地域イベントへの参加

○環境フェスティバル2019、いとにぎわい祭り



環境フェスティバル2019(①、②)では「ロール芯と古紙のペン立て作り」、古紙リサイクルを意識した「チラシで作るペーパープレスレット」リサイクル工作講座、いとにぎわい祭り(③、④)では「はたらく車シリーズ」に財団のパッカー車を展示し積込体験やごみ搬出デモンストレーションを実施しました。さまざまな体験講座を通し、ごみ分別の大切さ、ごみ減量の大切さを感じていただけたようです。

④福岡市が推進する「一人一花運動」への協賛



福岡市が行う「一人一花運動」に協賛しています。各事業所の入口の他、本社近隣のスポンサー花壇(左)にも植栽しています。

⑤災害支援活動



近年、大規模災害が頻発している中、財団においても福岡市から協力要請を受けた場合に、財団の職員が被災都市における災害廃棄物の収集・運搬支援を行うため、福岡市と「災害廃棄物の収集・運搬支援に関する協定書」を令和元年7月に締結しました。



⑥グリーンカーテンの実施

昨年実施した各省エネ効果の検証の結果、遮光・遮熱効果、温度抑制効果等で一定の成果が確認できましたので、社内の環境意識の向上や省エネ推進のために、今年度は全事業所にてグリーンカーテンを実施しました。

実施期間：令和元年5月～9月

実施場所：本社（1階エントランス横）

事業部（2階事務所ベランダ）

西部リサイクルプラザ（館内入口横）

福岡市葬祭場（レストラン横）

植物種類：ゴーヤ、へちま、キュウリ、アサガオ等



○グリーンカーテン生育の様子

各所属において、通常業務の負担にならないよう設置場所の変更や水やり等の植物管理を創意工夫して行いました。

グリーンカーテンには、一般的に言われる遮光、遮熱などの「すだれ」と同様の効果があるとされており、さらに視覚的效果や収穫の楽しみを加味すると、自然を利用した職場環境の改善につながり、環境配慮型経営を目指す財団としてもよい取り組みの一つと考えています。



○取組結果

西部リサイクルプラザと市民団体である「ふくおか環境倶楽部」が共同で取り組んだグリーンカーテンが、福岡市主催の「緑のカーテンコンテスト」において優秀賞に選ばれ、令和元年10月26日に開催された環境フェスティバルふくおか2019において、福岡市から表彰を受けました。

環境活動を通し、他団体や地域の方との交流も活発になり、今後も地域に密接した環境事業を展開していきたいと思えます。



13. 環境配慮型設備の導入（太陽光発電）

本社、西部リサイクルプラザ、葬祭場においては、太陽光発電を行っています。建物内の電気として利用され、省エネに貢献しています。

【本社】（供用開始：平成 23 年 7 月）



【西部リサイクルプラザ】（供用開始：平成 6 年 6 月）



【葬祭場】（供用開始：平成 17 年 10 月）



14. 代表者による全体の評価と見直し

	項目	見直しの有無	評価コメント
1	環境経営方針の見直し	有	理事長の就任に伴い、前段部分を改定した。
2	環境経営目標	有	令和元年度から第2次中期目標を策定した。(R1~R5)
3	環境経営計画	有	令和元年度から活動計画の見直しを行った。

○全体評価コメント

公益財団法人として環境に配慮した事業をより積極的に展開していくことを目的に、平成28年11月7日に「エコアクション21」の認証登録を受けてから、約4年が経過しようとしており、現在は、令和元年度を初年度とする第2次中期目標を設定し、各事業に取り組んでいるところである。

今回の令和元年度の環境経営目標については、おおむね達成できており、目標を達成できていない項目についても、わずかに目標値に及ばずという結果であった。

このことは、環境推進員を中心に取り組んできた環境活動の成果の表れであり、職員が環境に配慮しつつ業務を遂行するという意識の高まりを感じている。

しかしながら、今後の業務量を勘案すると、当財団の主要業務である葬祭場やごみ収集部門の業務量は増加が確実に見込まれ、それに伴うエネルギー消費量も増加となることが予想され、第2次中期目標を達成するにあたっては、これまで以上の努力が求められる。このため、職員一人ひとりが、改めて環境経営方針をしっかりと認識し、全社一丸となって目標の達成に向けて取り組んでいかなければならない。

令和2年8月1日

理事長 椋野 清彦

